Panasonic

取扱説明書　基本編

工事説明付き

ネットワークカメラ

品番 BB-SP104W

パナソニック システムネットワークス株式会社
〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2014

Cs0314-0 **PGQX1555ZA**
Printed in China

保証書別添付　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置工事されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

主な機能

●ネットワーク環境で高効率運用ができるトリプルエンコーディング
２つのH.264出力と１つのJPEG出力、計3つの出力が同時に可能です。

●適応型暗部補正機能を搭載
照度差がある被写体の暗い部分の黒つぶれを補正します。

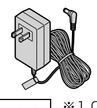
●無線LAN機能を搭載（IEEE802.11n/g/b対応）
無線ルーター経由で、カメラ映像のモニターおよび各種設定が可能です。

●WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能を搭載
無線ルーターの接続設定情報とセキュリティ設定情報を自動的に取得し、WPS機能を設定することが可能です。ボタンを押す（PBC方式）、および8桁の暗証番号の入力（PIN方式）に対応しています。

付属品の種類

スタンド　1個

ACアダプター　1個



ねじ　3本（1本予備）

取扱説明書 基本編（本書）	1冊
カメラを設定する（チラシ）	1枚
保証書	1式
CD-ROM※1	1枚
コードラベル※2	1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

他に必要なもの

【市販品】
- パーソナルコンピューター（以下、PC）（設定・画像確認用）
- ルーター、または無線ルーター
- Ethernetケーブル（カテゴリー5 ストレートケーブル）
（PCと直接接続する場合は、カテゴリー5 クロスケーブルが必要です）

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と「カメラを設定する」（チラシ）、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）の3部構成になっています。
本書では、接続・設置のしかたについて説明しています。また、「カメラを設定する」（チラシ）では、ネットワークの設定のしかたについて説明しています。
本機の操作や設定のしかたは、付属CD-ROM内の「取扱説明書　操作・設定編」をお読みください。PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

必要な PC の環境

必要なPCの仕様や注意については、「カメラを設定する」（チラシ）を参照してください。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
  ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害
  ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
  ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。
① 本機を経由した情報の漏えいや流出
② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止
このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。
- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

無線に関するお願い

電波に関するご注意

本製品は、2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器です。
全帯域を使用しかつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式は、DSSS方式およびOFDM方式で、想定干渉距離は40 mです。本製品には、それを示すマークが貼付されています。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、お客様ご相談センター（➔「保証とアフターサービス」）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、お客様ご相談センター（➔「保証とアフターサービス」）へお問い合わせください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です

無線LANでは、Ethernetケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID、パスワード、通信画像やEメール

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

■ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ネットワークカメラをはじめとする無線LAN製品（以下、無線LAN製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定について、お客様ご自分で対処できない場合には、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用することをおすすめします。
セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
上記文掲載URL:
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/jeita_info.html

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

●工事は販売店に依頼する
工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
○必ず販売店に依頼してください。

●異常があるときは、すぐ使用をやめる
煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけがや事故、器物破壊の原因となります。
○放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

●総質量に耐える場所に取り付ける
落下や転倒によるけがや事故の原因となります。
○十分な強度に補強してから取り付けてください。

⚠ 警告

●定期的に点検する
金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。
○点検は、販売店に依頼してください。

●高所作業は資格者が行う
工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。
○必ず販売店に依頼してください。

●配線は正しく行う
ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。

●専用の取付金具を使用する
落下によるけがや事故の原因となります。
○設置の際は、専用取付金具を使用してください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
○傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●お手入れのときは電源を切る
感電の原因となります。

●電源プラグのほこりなどは定期的にとる
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
○電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●分解しない、改造しない
火災や感電の原因となります。
○修理や点検は、販売店に依頼してください。

●異物を入れない
水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。
○直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●可燃性ガスの雰囲気中で使用しない
爆発によるけがの原因となります。

●塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

●専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使用しない
専用のACアダプター以外を使用すると、電圧や＋－の極性が異なっている場合があるため、発煙・火災の原因となります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

●電源を入れたまま工事、配線をしない
火災や感電の原因となります。

●振動する場所に取り付けない
振動で金具が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

●不安定な場所に置かない
落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

●屋外や軒下に設置しない
取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
○コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

●雷のときは工事、配線をしない
火災や感電の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない（工事時を含む）
感電の原因となります。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

●機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない
火災や感電の原因となります。
○直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
水ぬれ禁止

●水をかけたり、ぬらしたりしない
火災や感電の原因となります。
○直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

⚠ 注意

●人がぶつからない高さに取り付ける
けがの原因となります。

●振動や強い衝撃を与えない
けがの原因となります。

●金属のエッジで手をこすらない
強くこするとけがの原因となります。

使用上のお願い

⚠ 警告　⚠ 注意 に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください

本機に電源スイッチはありません
電源を切る場合は、DCプラグを抜くか、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

長時間安定した性能でお使いいただくために
高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。
設置場所の放熱および暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

レンズに直接触れないでください
レンズが汚れると画質劣化の原因となります。

取り扱いはていねいに
落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

使用するPCについて
PCモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

異常検出時、自動的に再起動を行います
再起動した場合は、電源投入時と同様に約2分間操作ができません。

本機を譲渡・廃棄される場合
本機に記録された情報内容と、本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。

お手入れは
必ず電源をOFFにした状態で行ってください。本機の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。 シンナー、ベンジン、ワックス、石油、石けん、みがき粉、熱湯、水、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

画像更新間隔について
画像更新間隔は、ご利用のネットワーク環境、PC性能、被写体、アクセス数により長くなることがあります。

CMOSセンサーについて
- 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CMOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- 動きの速い被写体を写したとき、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

AVC Patent Portfolio License について
本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

画面のちらつき（フリッカー）について
照明の影響により、画面のちらつきが発生することがあります。光量制御モードをフリッカレスに設定してください。お住まいの地域の電源周波数に応じて、フリッカレス（50 Hz）とフリッカレス（60 Hz）を選択してください。設定方法については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。
フリッカレス設定においても、非常に明るい照明下ではフリッカーが発生する場合があります。また、「明るさ」ボタンで画面を暗く設定するとフリッカーが発生しやすくなります。フリッカーが発生した場合は、以下の方法によりフリッカーが軽減される場合があります。
- カメラの向きを変えて被写体の明るさを抑える
- 「明るさ」ボタンをより明るく設定する

フリッカレス設定の白飛びについて
光量制御モードがフリッカレス設定の場合、画面の明るい部分の階調がELC設定に比べて損なわれる場合があります。

細かい絵柄への色付きについて
画面内に細かい絵柄があると、その部分に色付きが発生する場合があります。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原 因 ・ 対 策
電源が入らない	● ACアダプターの電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ → 接続されているか確認してください。 ● ACアダプターは必ず専用のACアダプター（付属品）を使用してください。

仕様

●基本

電源	本体　入力：DC9 V ACアダプター　入力：AC100 V　50 Hz／60 Hz （Panasonic製専用ACアダプターをご使用ください）
消費電力	最大3.1 W (AC 100 V)
使用温度範囲	0 ℃　～　+40 ℃
使用湿度範囲	20 % ～ 90 %（結露しないこと）
寸法	高さ　70 mm　幅　70 mm　奥行　25.4 mm（突起部は除く）
質量	80 g
仕上げ	本体　：ABS樹脂、ホワイト色

●カメラ部

撮像素子	1／4型 CMOSセンサー
有効画素数	100万画素
走査面積	3.89 mm (H) × 2.43 mm (V)
走査方式	プログレッシブ
最低照度	カラー　0.9 lx (F2.8、オートスローシャッター：Off（1/30 s）、ゲイン：On（High）） 0.06 lx (F2.8、オートスローシャッター：最大16/30 s、ゲイン：On（High））※ 白黒　0.6 lx (F2.8、オートスローシャッター：Off（1/30 s）、ゲイン：On（High）） 0.04 lx (F2.8、オートスローシャッター：最大16/30 s、ゲイン：On（High））※ ※換算値
ゲイン（AGC）	On（Low）／On（Mid）／On（High）／Off
暗部補正	On／Off
光量制御	フリッカレス（50 Hz／60 Hz）／ELC
ELC（最長露光時間）	1/30 s、3/100 s、3/120 s、2/100 s、2/120 s、1/100 s、1/120 s、1/250 s、1/500 s、1/1000 s、1/2000 s、1/4000 s、1/10000 s
オートスローシャッター	Off（1/30 s）、最大2/30 s 、最大4/30 s 、最大6/30 s、最大10/30 s、最大16/30 s
簡易白黒切換	Off／Auto
ホワイトバランス	ATW1／ATW2／AWC
デジタルノイズリダクション	High／Low
画像認識　顔検出 ※1	On/Off（XML通知機能あり）
プライバシーゾーン	塗潰し／Off（ゾーン設定　最大2か所）
画面内文字表示	最大20文字（アルファベット、カタカナ、数字、記号） On／Off
動作検知（VMD）	On／Off、4エリア設定可能

●レンズ部

ズーム	1.5倍（EXズーム、VGA解像度使用時）
デジタルズーム	4倍（最大6倍　EXズーム、VGA解像度使用時）
焦点距離（ f ）	3.6 mm
最大口径比（F）	1：2.8
フォーカス範囲	∞ ～ 0.4 m
画角	水平　57°、 垂直　34° (アスペクト比: 16:9の場合)

●無線部

アンテナ	1空間ストリーム（1×1）
ダイバシティ	空間ダイバシティ
伝送方式	SISO（Single Input／Single Output）-OFDM方式、OFDM方式、DSSS方式
無線規格	国内規格 ARIB STD-66準拠 国際規格 IEEE802.11n／IEEE802.11g／IEEE802.11b準拠
周波数範囲/チャンネル（中心周波数）	IEEE802.11n／g／b 2.412 GHz～2.472 GHz（1～13ch）
データ転送速度 ※2	IEEE802.11n: 6.5 ～ 72.2 Mbps IEEE802.11g: 6 ～ 54 Mbps IEEE802.11b: 1 ～ 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー（無線LANアクセスポイント／無線ルーター接続）
認証方式	Open System
セキュリティ ※3	WPA2-PSK（TKIP／AES） WPA-PSK（TKIP／AES） WEP（64 bit／128 bit）
WPS	PBC方式（WPSボタン方式）、PIN方式（PINコード入力方式）

●無線部ハードウェア

WIRELESSランプ	WPS状態表示
WIRELESSボタン	WPS PBC起動ボタン

●ネットワーク部

ネットワーク	10BASE-T／100BASE-TX、RJ45コネクター	
画像解像度	アスペクト比: 4:3 H.264 SVGA (800x600)/ VGA (640x480)/ QVGA (320x240) 最大30 fps JPEG SVGA (800x600)/ VGA (640x480)/ QVGA (320x240) 最大30 fps アスペクト比: 16:9 H.264　1280x720/ 640x360/ 320x180　最大30 fps JPEG　1280x720/ 640x360/ 320x180　最大30 fps	
画像圧縮方式 ※4	H.264	画質選択：動き優先／標準／画質優先 配信方式：ユニキャスト／マルチキャスト ビットレート： (固定ビットレート／フレームレート指定／ベストエフォート配信／アドバンスド可変ビットレート) 64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／512 kbps／768 kbps／1024 kbps／1536 kbps／2048 kbps／3072 kbps／4096 kbps／8192 kbps フレームレート： (フレームレート指定／アドバンスド可変ビットレート) 1 fps／3 fps／5 fps／7.5 fps／10 fps／12 fps／15 fps／20 fps／30 fps
	JPEG	画質選択：0最高画質／1高画質／2／3／4／5標準／6／7／8／9低画質（0～9の10段階） 配信方式：PULL／PUSH

仕様

画像更新間隔	0.1 fps～30 fps（JPEGとH.264同時動作時のJPEGフレームレートは制限あり）
配信量制御	制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／512 kbps／768 kbps／1024 kbps／2048 kbps／4096 kbps／8192 kbps
対応プロトコル	IPv6：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、RTP、FTP、SMTP、DNS、NTP、SNMP、DHCPv6、MLD、ICMP、ARP IPv4：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、RTSP、RTP、RTP／RTCP、FTP、SMTP、DHCP、DNS、DDNS、NTP、SNMP、UPnP、IGMP、ICMP、ARP
最大接続数	14（条件による）
FTP クライアント	アラーム画像送信、FTP 定期送信
マルチスクリーン	同時に16台のカメラの画像を表示（自カメラ含む）
携帯電話対応	NTTドコモ、au（KDDI）、SoftBank JPEG画像表示
携帯端末対応（2014年3月現在）※5	iPad、iPhone、iPod touch、Android™端末

※1　機能拡張ソフトウェアを追加する必要があります。
機能拡張ソフトウェアについては、以下URLを参照してください。
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html
※2　理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。
※3　接続される無線アクセスポイント（無線ルーター）によっては接続できないことがあります。
802.11 n 接続をする場合は、セキュリティ設定はWPA-PSK（AES）、 もしくはWPA2-PSK（AES）を選択してください。
※4　同じ圧縮方式でそれぞれ独立に2ストリーム分の配信設定が可能です。
※5　対応機種など詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html）を参照してください。

●別売り

H.264ユーザーライセンス	BB-HCA8
ネットワークカメラ専用録画ビューアソフト	BB-HNP17

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは
「故障かな!?」でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ネットワークカメラ
●品　番	BB-SP104W
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。
技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 7年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき
お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

■ 高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、１年に１回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。
本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
● 本機を使用せずに放置している。	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。
● 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ● 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ● 本機および取付部に破損や著しいさびがある。	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

■ 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。
本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像や音※が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。	故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。
■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター
電話 フリーダイヤル **0120-878-410**（バナナ ヨイワ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

1 取り付け位置を確認する

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。
接続する前に、本機など接続する機器の電源を切ってください。

⚠警告 工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

本機は屋内専用です
屋外での使用はできません。
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

以下のような場所での設置および使用はできません
- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- プールなど薬剤を使用する場所
- 湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用周囲温度（0 ℃～+40 ℃）を超える場所
- 車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンズが曇ったり、結露したりする場合があります）

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

設置作業の前に
- 本機を木製天井や壁面に取り付ける場合は、付属の木ねじを使用してください。木製部以外に取り付ける場合は、取付場所の材質や構造、総質量を考慮して別途ねじをご用意ください。
- 設置する面および使用するアンカーやねじは、十分な強度を確保してください。
- 石こうボードや木部は、強度が弱いので取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

カメラの電源が入／切できるように電源工事をしてください
本機には電源スイッチがありませんので、電源工事の際は、カメラの電源を入／切できるように設置してください。もしくは、ACアダプターが容易にコンセントから抜けるように設置してください。

ネットワーク接続について
ネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

取付ねじの締め付けについて
- ねじは、取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損や締めすぎの原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

木製部用途以外の取付ねじは別途ご用意ください
本機に付属のねじは木製部専用の取付ねじです。
取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり 196 N｛20 kgf｝以上必要です。

カメラ本体内部のねじは外さない（ゆるめない）でください
カメラ本体内部のねじをゆるめると、故障や落下事故の原因となります。

電波障害について
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

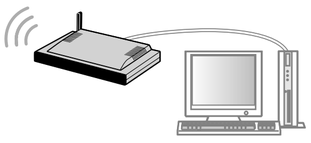
ルーターについて
本機をインターネットに接続する場合で、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターを使用してください。
ポートフォワーディング機能の概要については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。本機を無線接続する場合、無線暗号化設定は、暗号化強度が高いWPA2-PSK(AES)かWPA-PSK(AES)を設定することをお勧めします。

時刻設定について
本機は運用開始前に時刻の設定が必要です。時刻の設定については、「取扱説明書　操作･設定編」（CD-ROM内）をお読みください。

VCCIについて
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

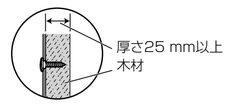
カメラの取り付け位置を決める

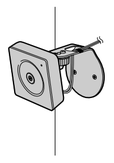


- 無線接続をご利用になる場合は、取り付ける前に無線ルーターとの無線設定を事前に行ってください。
- 取り付け位置から無線ルーターに無線接続できるか、事前にご確認ください。詳しくは「3 カメラを接続する」を参照してください。

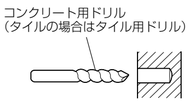
取り付け方を決める

■天井または壁に取り付ける
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm 以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm 以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。





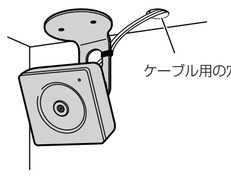
天井または壁の材質がモルタルやコンクリートのとき
設置したい位置が決まったら、市販のドリルと天井または壁取り付け専用のアンカー（ねじの呼び径 4.0 mm）を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。
1. スタンドを設置したい位置に合わせてねじ穴（2か所）の取り付け位置に印をつけます。
2. 印に合わせてドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
3. カメラをねじで固定します。

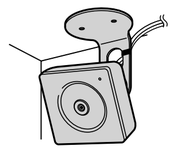


■三脚に取り付ける
一般的なカメラで使う三脚（市販品）に取り付けることもできます。

ケーブルの通り方を決める

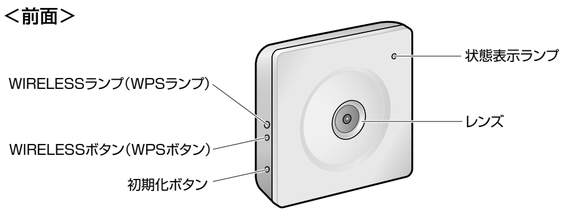
ケーブルを天井や壁の中を通すときには、ケーブル用の穴をあける必要があります。



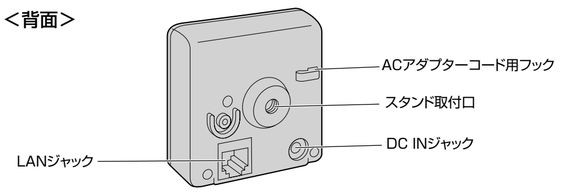


2 各部の名前

＜前面＞



＜背面＞



初期化ボタンについて
本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒間押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データ、無線関連を含む設定が初期化されます。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

重要
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

状態表示ランプについて
状態表示ランプの詳細については、付属CD-ROM内の「取扱説明書　操作･設定編」の「基本設定を行う［基本］」を参照してください。

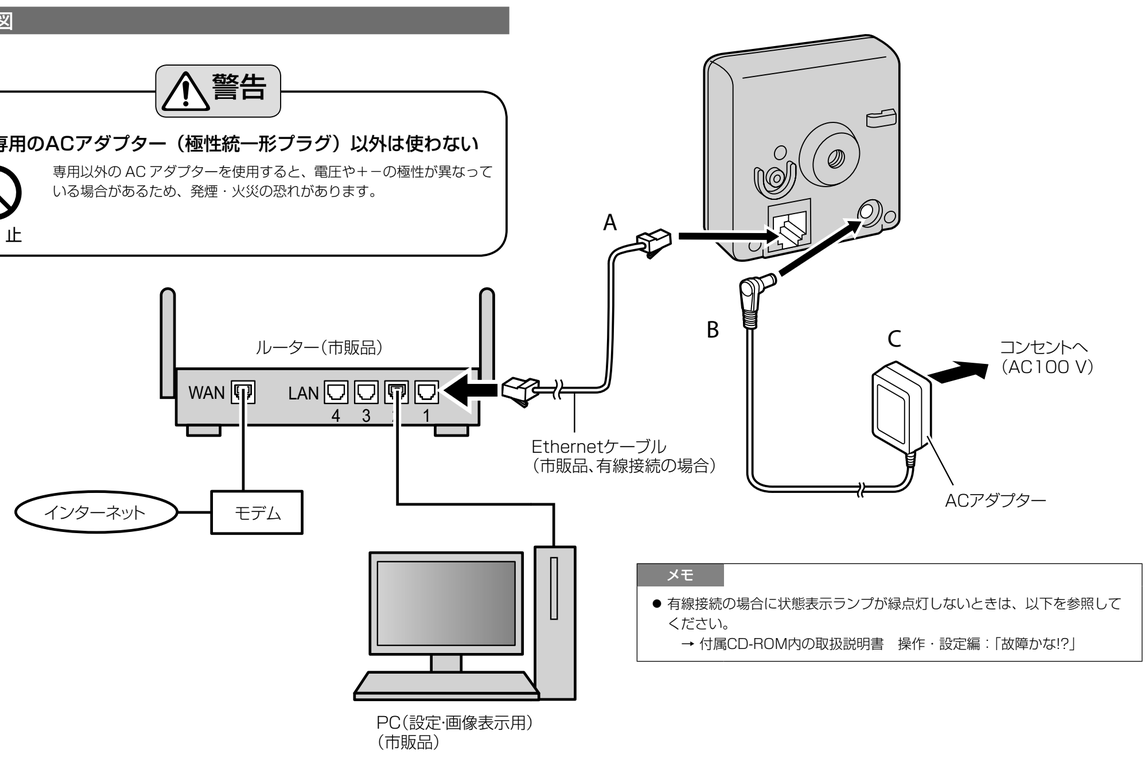
3 カメラを接続する

接続図

⚠警告

■ 専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

禁　止　専用以外の AC アダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっている場合があるため、発煙・火災の恐れがあります。



メモ
- 有線接続の場合に状態表示ランプが緑点灯しないときは、以下を参照してください。
  → 付属CD-ROM内の取扱説明書　操作・設定編：「故障かな!?」

Ethernetケーブルを使用して接続する場合

1 Ethernetケーブル（市販品）をカメラのネットワーク端子とルーターのLANジャックに接続する
無線で接続する場合は、Ethernetケーブルをネットワーク端子に差し込まないでください。詳しくは「無線LANを使用して接続する場合」を参照してください。

2 ACアダプターのコードをカメラのDC INジャックに差し込む

3 ACアダプターのプラグをコンセントに差し込む

カメラの接続が完了したあとは、「カメラを設定する」（チラシ）を参照してカメラの設定を行ってください。

重要
- 電源を入れる前にEthernetケーブル（市販品）を接続してください。

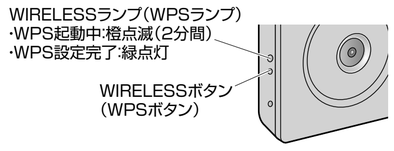
無線LANを使用して接続する場合

本機のWIRELESSボタン（WPSボタン）を使って、無線の自動設定を行います。

1 本機の無線機能を有効にするために、Ethernetケーブルを本機に接続せずに電源を入れる
電源投入後約90秒で状態表示ランプが橙点滅から橙点灯になり、本機が無線LANモードで起動します。

2 無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（PBC方式）をONにする

3 本機のWIRELESSランプ（WPSランプ）が橙点滅するまでWIRELESSボタンを約1秒以上押す
- 本機と無線ルーターが無線の自動設定を開始し、最大約2分間動作します。
- 無線の自動設定が成功すると、WIRELESSランプ（WPSランプ）が橙点滅から緑点灯し、約5秒後に再起動します。
- 再起動中、WIRELESSランプ（WPSランプ）は消灯し、約90秒後に無線接続が完了すると再度緑点灯します。



メモ
- 本機のWIRELESSランプ（WPSランプ）の点滅から約2分間経過しても無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSランプ（WPSランプ）が約10秒間赤点滅したあと消灯します。
  この場合、無線設定は失敗しています。 無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
- WIRELESSランプ(WPSランプ)と状態表示ランプの緑点灯を消灯したい場合は、「設定メニュー」の「基本」ページの「ランプ表示」を［消灯］に設定してください。

重要
- 無線ルーターがShared Key認証方式に設定されているとWPS機能は使用できません。
- 無線ルーター等でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を使用する設定にしている場合、WPS機能での設定はできません。
- 「WPS設定」での設定中は、無線ルーターにおいて他の無線接続が一旦切断されることがあります。
- 無線ルーターで、MACアドレスフィルタリングを使用する設定になっている場合、「WPS設定」での設定ができないことがあります。無線ルーターの設定を確認してください。
- 無線ルーター等では、接続する無線LAN端末がない状態で「WPS設定」を行った場合、2分間で自動的にキャンセルされます。(ご使用の無線ルーターを確認してください。)
- 同一ネットワーク上に複数のWPS-ON状態の無線ルーター（Registrar）がある場合、WPSの自動設定が失敗することがあります。

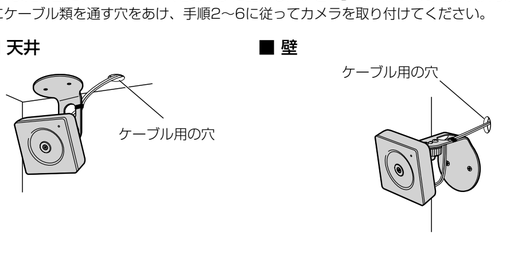
カメラの接続が完了したあとは、「カメラを設定する」（チラシ）を参照してカメラの設定を行ってください。

- 無線の接続状態を「設定メニュー」の「無線」ページの「ステータス」画面で確認してください。

無線通信の使用範囲について

次のような環境で、機器と本製品を同時に使用しないでください。
（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）
- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近くや、Bluetooth機器の近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください
（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
（電波を反射する物体が周囲にあると、反射した電波との干渉で通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- トタン製の壁
- スチール棚
- 防火ガラス



4 カメラを設置する

⚠警告

■ 強度の弱い天井や壁には取り付けない

禁　止　（石こうボード･ALC（軽量気泡コンクリート）･コンクリートブロック･厚さ 25 mm 以下のベニヤ板など。）
落下して、けがの原因になることがあります。

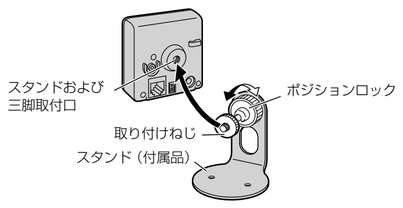
取り付けるときは、本体を十分に支えられ、振動がなく強度のある天井や壁に確実に取り付けてください。

カメラを設置する前に、カメラの設定が完了していることを確認してください。「カメラを設定する」（チラシ）を参照してください。

スタンドに取り付ける

1 ポジションロックをゆるめて、カメラをスタンド（付属品）の取り付けねじで固定する

2 カメラの向き・角度を決め、ポジションロックを回して固定する

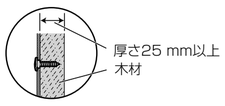


天井または壁に取り付ける

実際に PC 画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

天井または壁にケーブル用の穴をあけずに配線したいとき

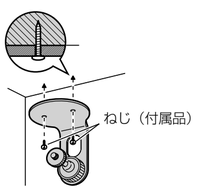
1 スタンド（付属品）の底を天井または壁にあて、スタンドを固定する場所を決める
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm 以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが 25 mm 以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。



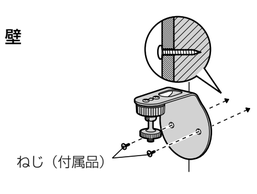
メモ
- 取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり196 N（20 kgf）以上必要です。

2 天井または壁にねじ（付属品）でスタンド（付属品）を取り付ける

■ 天井

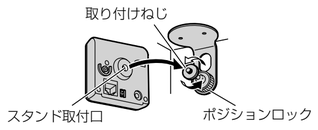


■ 壁

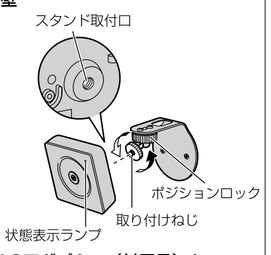


3 ポジションロックをゆるめて、スタンドの取り付けねじでカメラを取り付ける

■ 天井

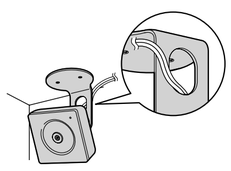


■ 壁

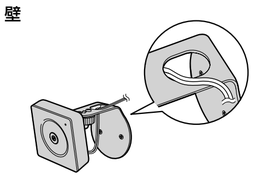


4 「カメラを接続する」を参照しながら、ACアダプター（付属品）とEthernetケーブル（市販品、有線接続の場合）をスタンドの穴に通してからカメラに接続する

■ 天井

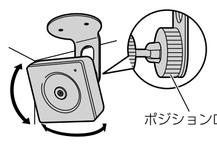


■ 壁

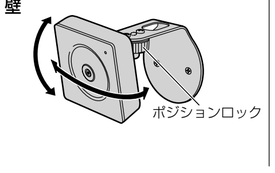


5 カメラの向き・角度を調整して、ポジションロックを確実に固定する

■ 天井

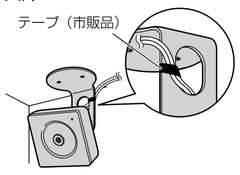


■ 壁

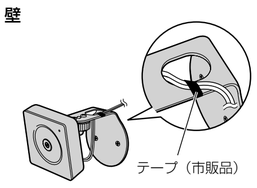


6 ACアダプターとEthernetケーブル（市販品、有線接続の場合）をスタンド（付属品）にテープ（市販品）で固定する

■ 天井



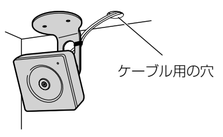
■ 壁



天井または壁に穴をあけて配線したいとき

「天井または壁にケーブル用の穴をあけずに配線したいとき」の手順1 のあと、天井または壁にケーブル類を通す穴をあけ、手順2～6に従ってカメラを取り付けてください。

■ 天井



■ 壁